

加西市未来の学校構想検討委員会に係る先進地視察

— 松阪市立鎌田中学校視察報告 —

加西市教育委員会

- 1 日 時：令和4年6月20日（月）
- 2 場 所：三重県松阪市立鎌田中学校
〒515-0005 三重県松阪市鎌田656番地
- 3 訪問者：加西市未来の学校検討委員会委員10名、教育委員4名、教育員会事務局7名
合計21名
- 4 対応者：松阪市教育長、次長、指導主事、市長部局担当者（地域連携担当）
鎌田中学校（校長、教頭、生徒指導担当者 計14名）



5 視察先選定理由

- (1) コミュニティ・スクールを導入
- (2) 中学校+複合施設（社会教育施設：地域交流センター）を併設
- (3) 校舎の機能・デザインの魅力
- (4) 学校規模 400名（北条中学校、新中学校（仮）と同規模）

6 視察内容

- (1) 中田松阪市教育長の挨拶より
 - ・ 松坂の人づくりとして教育ビジョンの策定
 - ・ 地域の中にある学校としての機能
 - ・ 幼・小・中が連携したコミュニティ・スクールの設置
 - ・ 市長部局と連携しながら地域活動の取組強化
 - ・ ワークショップ（熟議）により、地域住民が主体的に学校づくりに意見を提言。生徒自身の意見により、制服を変更。



(2) 教育委員会事務局担当者（施設整備担当）の説明

- ・ 平成23年度から改築の動き
- ・ 地域及び学校関係者が自立かつ主体的に運営していくための気運づくりと体制づくりを推進。主役は、地域住民及び学校関係者であり、平成25年に市内初のコミュニティ・スクールの導入
- ・ ワークショップ（熟議）を開催し、「やりたいこと」に対して設備や空間をどう設計していくか意見交

(3) 鎌田中学校長説明 —「あい」あふれる鎌中の創造—

- ・ 平成25年に市内初のコミュニティ・スクールの導入。学校と家庭と地域が一つとなって子どもを育てていくという目標設定（どんな子どもに育てたいのかということ熟議で共有）
- ・ 目指す子ども像を幼・小・中で共通
- ・ コミュニティ・スクールのネットワークとまちづくりのネットワークを重視（市職員の1名配置）
- ・ 地域連携として、人権サークルを設置（生徒は、部活動と並行して所属可能）毎月11日をベルの日（ベルクローバーをつける）とする。

(4) 施設見学和室（学校・地域で共用）



1階 地域コミュニティセンター



和室（学校・地域で共用）



3階までの吹き抜け



図書スペース



職員室



少人数教室（不登校対応）

7 視察による学び

- (1) 鎌田中学校改築について、地域住民等による熟議をおこない、そこで形づけていった方針や意見を反映させている。
- (2) 校舎の改築を機に、子ども達が主体的に学ぼうとする姿が見られ、教育効果が上がっている。
- (3) 地域住民の利活用スペースと中学生の活動スペースを共用していることによって、地域住民との自然なコミュニケーションが図られたり、人権教育等課題学習における参画・協力が得やすくなったりするメリットがあった。
- (4) 改築前には、生徒指導面で課題のある学校であったが、地域住民との交流が日常的となり、生徒が落ち着いた学校生活をおくるようになってきている。（あいさつの声が大変すばらしい）
- (5) オープンスクールは、これまでは5人程度の参加しかなかったが、校舎改築後、授業参観を希望する保護者等が200人を超えるようになった。

コミスクの会議とPTAの本部役員会合同で実施

- (6) 教育長の強い教育理念・信念の下、鎌田中学校の特色ある学校経営の推進はもとより、市全体のGIGAスクール構想によるICT教育の効果的な取組を行っている。